



2020年1月期 決算説明資料

ベステラ株式会社
東証第一部(証券コード:1433)

決算のポイント(連結)

| | |
|---------------------------------|---|
| 売上高 3,436 百万円 | <ul style="list-style-type: none">•売上高は対前年1,491百万円(30.3%)減•下半期に収益化の予定であった案件の受注遅れが影響 |
| 営業利益 93 百万円 | <ul style="list-style-type: none">•売上総利益率は例年並みの20.6%•営業利益は、減収のため、対前年404百万円(81.3%)の減益 |
| 受注残高 1,046 百万円 | <ul style="list-style-type: none">•受注残高は、昨年度と同水準で推移。受注見込の大型案件が控えており、今期の引き合いの状況は良好 |
| 通期業績予想 | <ul style="list-style-type: none">•2021年1月期の業績予想は、売上高6,400百万円、営業利益570百万円のV字回復を見込む |
| M&A戦略 | <ul style="list-style-type: none">•リバーホールディングス(株) 資本業務提携先のリバーホールディングス(株)が、東証二部へ新規上場•3Dビジュアル(株) プラント等の3Dスキャン・モデリング・設計事業を、(株)インターアクションより譲受 |

トピックス① リバーホールディングス(株)の新規上場

高度循環型社会の実現に向けての資本業務提携先であるリバーホールディングス(株)が、東京証券取引所市場第二部への新規上場を承認されました。当社は同社株式を250万株保有しており、筆頭株主であります。

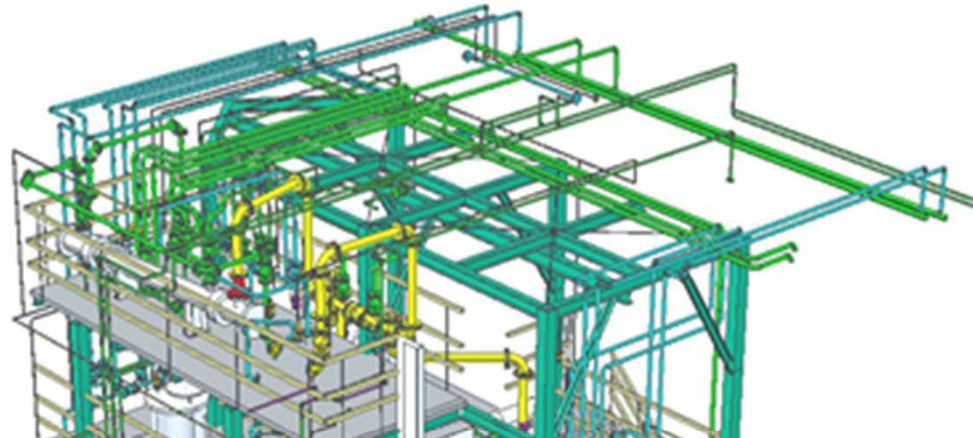


- ✓ 110年超の歴史を持つ日本を代表するマテリアルリサイクラー
- ✓ 海外と比較して国内のリサイクラーは小規模事業者が多いため日本の静脈メジャーを目指し、業界再編・統合を積極的に推進

| | |
|-------------|---|
| 名 称 | リバーホールディングス株式会社 https://www.re-ver.co.jp/ |
| 事 業 内 容 | グループ事業の統括(事業会社 10社) 金属リサイクル事業、家電リサイクル事業、自動車リサイクル事業、産業廃棄物処理事業等 |
| 所 在 地 | 東京都千代田区大手町一丁目7番2号東京サンケイビル15階 |
| 設 立 | 2007年7月(1904年創業) |
| 純 資 産 | 15,474百万円(2019年6月末現在) |
| 代 表 取 締 役 | 代表取締役会長・CEO 鈴木孝雄 代表取締役社長・COO 松岡直人 |
| 連 結 従 業 員 数 | 753名(正社員610名/臨時従業員143名)(2019年6月末現在) |

トピックス② 3Dビジュアル(株)の設立

2020年2月1日付けで、プラント等の3Dスキャン・モデリング・設計業務を提供する事業を、(株)インターアクションより当社子会社(3Dビジュアル(株))が譲り受けました。この技術を活用し、解体工事の高度化を図ってまいります。



| | |
|-------|---|
| 商号 | 3Dビジュアル株式会社 https://3dv.co.jp/ |
| 事業内容 | 3Dスキャン、3Dモデリング、設計、解析、設備検査、設計者派遣、ソフトウェアトレーニング |
| 所在地 | 千葉県千葉市中央区本千葉町1-11千葉中央ビル |
| 資本金 | 10,000,000円 |
| 代表取締役 | 関谷 竜一(ベステラ(株) 取締役 開発営業部長) |
| 従業員数 | 13名 |

トピックス③ 新型コロナウイルスの業績への影響

| | |
|---------------|--|
| <p>業績への影響</p> | <p>・2020年1月期実績 新型コロナウイルスの影響はございません。当社はプラントの解体を主な事業としており、事業内容の性質上、人が密集する等、一般的にコロナウイルスの影響を受けると考えられる事柄とは関係性は低いと考えております。</p> <p>・2021年1月期予想 今回のコロナウイルスによる業績への影響は軽微な程度に留まるものと考えております。ただし、今後当社社員や現場にて感染者が発生し、工期に遅れが出た場合には、業績に悪影響を与えるリスクがございます。</p> |
| <p>対応状況</p> | <p>新型コロナウイルスに対する社内外への感染被害抑止と、社員および当社関係者の皆様の安全確保の観点から、下記の対応を実施しております。</p> <ol style="list-style-type: none">1. 時差出勤の推奨2. 自宅でのリモートワーク <p>その他、アルコール消毒液を社内各フロアに設置、社員へのうがい用洗浄液の配布、個人による感染予防策の推奨</p> |

損益計算書: 2020年1月期

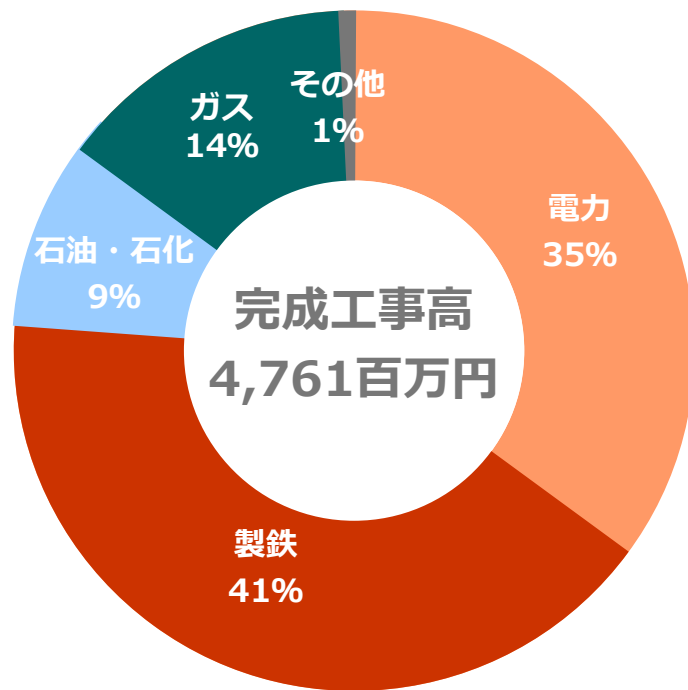
売上高は、下半期に収益化の予定であった大型案件の受注(着工)遅れのため、前年同期比30.3%の減収となりました。営業利益に関しても同様に、前年同期比81.3%の減益となりました。

単位: 百万円

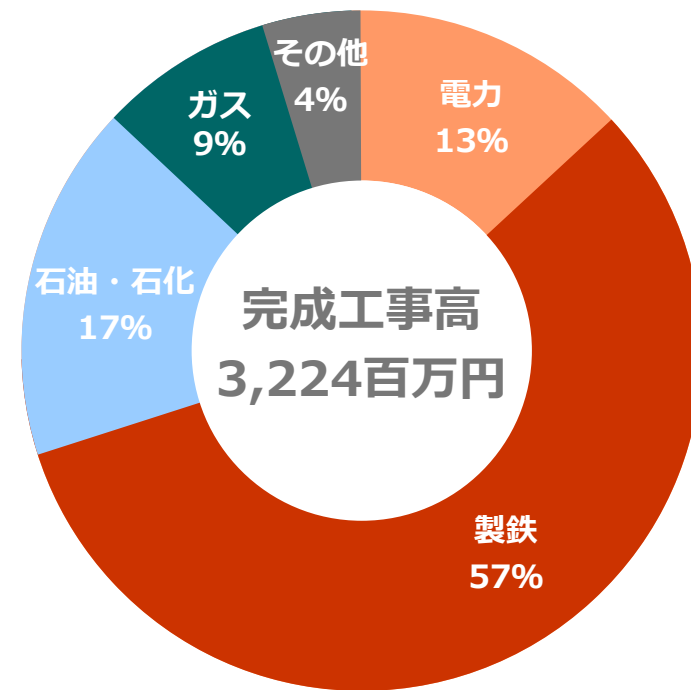
| | 2020年1月期 | 対売上高 比率 | 前年同期 | 前年同期比 増減額 | 前年同期比 増減率 |
|----------------------|----------|------------|-------|--------------|--------------|
| 売上高 | 3,436 | — | 4,927 | ▲1,491 | ▲30.3% |
| 売上総利益 | 708 | 20.6% | 1,054 | ▲345 | ▲32.8% |
| 販売費及び 一般管理費 | 615 | 17.9% | 556 | 59 | 10.7% |
| 営業利益 | 93 | 2.7% | 497 | ▲404 | ▲81.3% |
| 経常利益 | 97 | 2.8% | 495 | ▲398 | ▲80.4% |
| 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | 59 | 1.7% | 621 | ▲561 | ▲90.4% |

業界別 完成工事高構成比率

2020年1月期は、西日本の解体需要が旺盛である、製鉄業界を中心に完成工事高を計上しました。



2019年1月期（通期）

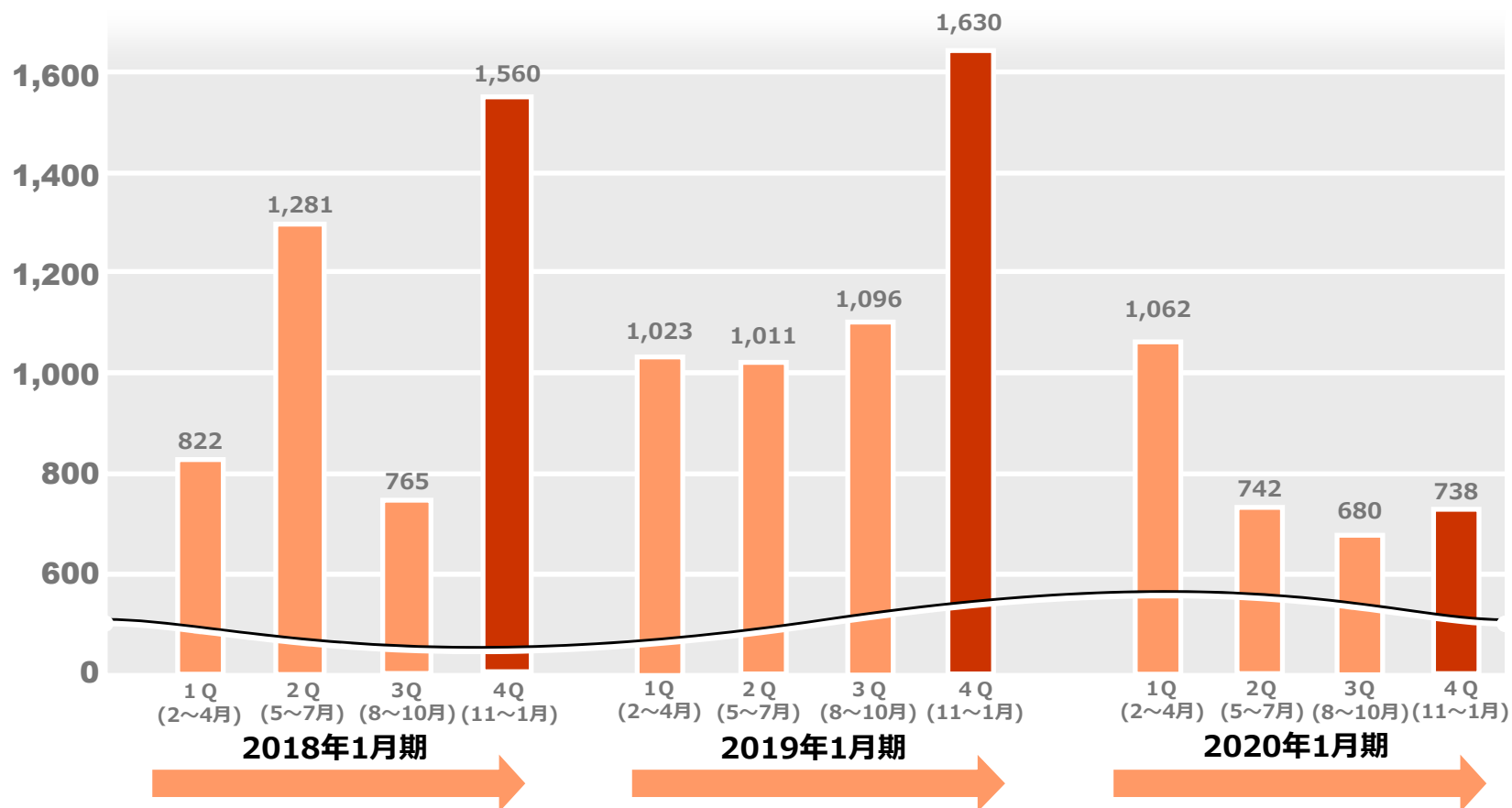


2020年1月期（通期）

完成工事高の推移について

当社の完成工事高は、顧客(施主)の設備投資計画に応じた季節性があります。当社は、第4四半期会計期間に計上される割合が高くなる傾向があります。

単位: 百万円



販売費及び一般管理費：2020年1月期

販管費は、人員の増加やベースアップ等により人件費が増加しているほか、クレーンレール検査ロボット開発等の投資を進めております。

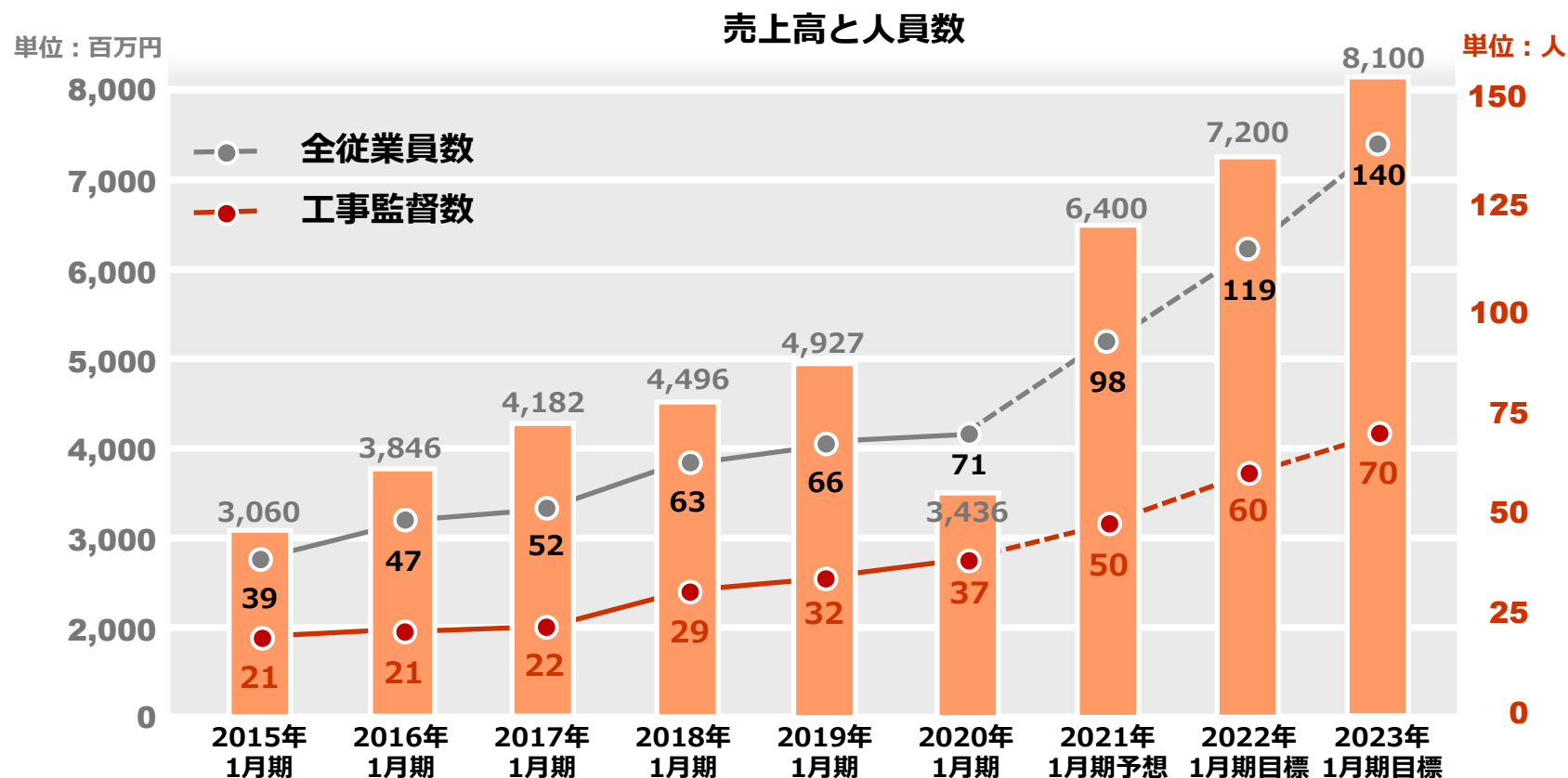
単位：百万円

| | 2020年1月期 | 前年同期 | 前年同期比 増減額 | 前年同期比 増減率 | 主な増減要因 |
|---------------|----------|------|--------------|--------------|-------------|
| 人件費 | 327 | 280 | 46 | 16.7% | 本社人員増 |
| 研究開発費 | 16 | 9 | 7 | 71.3% | ロボット開発 |
| 支払手数料 支払報酬 | 53 | 52 | 0 | 1.0% | 基幹システム改良 |
| 採用費 | 16 | 12 | 4 | 37.0% | 広告媒体、紹介手数料等 |
| 広告宣伝費 | 10 | 17 | ▲7 | ▲42.9% | 展示会減少 |
| その他 | 190 | 182 | 7 | 4.3% | 本社ビル賃貸費用 |
| 合計 | 615 | 556 | 59 | 10.7% | |

人員計画の進捗

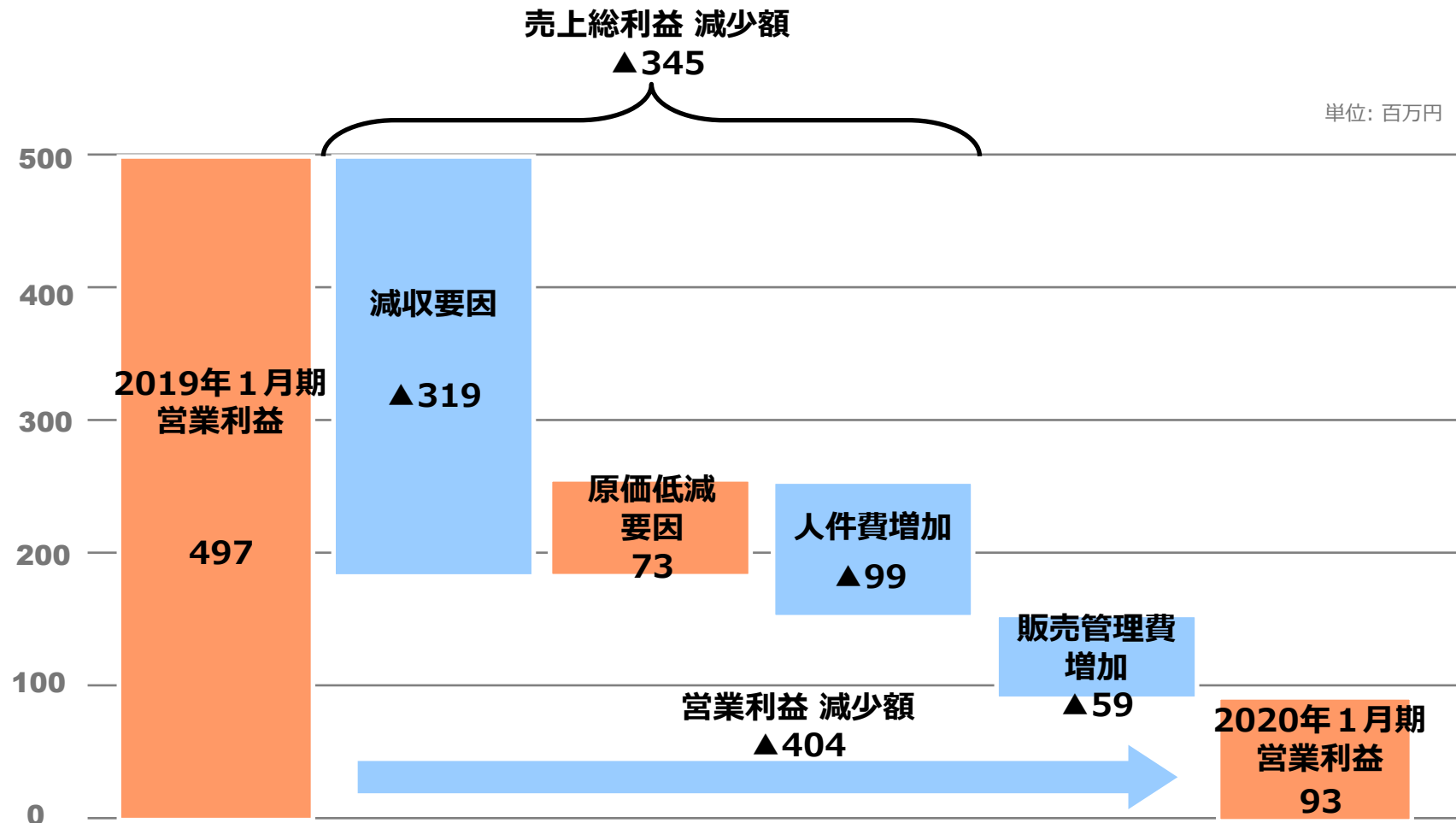
中期経営計画の人員計画に基づき下記の人員計画を作成しております。

工事監督数は、前年同期比5名増の37名となっております。



営業利益の増減要因分析：2020年1月期

営業利益は、売上高減少の影響に加え、工事監督を中心に人件費が増加したため、対前年404百万円の減益となっております。



貸借対照表:2020年1月期

単位: 百万円

| | 2020年1月期 | 前事業年度末 | 増減額 | 主な増減要因 |
|----------|----------|---------|----------|----------------------------|
| 流動資産 | 1,965 | 4,059 | ▲2,094 | リバーHDへの出資による現金預金の減少によるもの |
| (うち現金預金) | (938) | (2,032) | (▲1,093) | |
| 固定資産 | 2,975 | 504 | 2,470 | リバーHDへの出資による投資有価証券の増加によるもの |
| 流動負債 | 770 | 1,893 | ▲1,122 | 原価支払による短期の未払金減少によるもの |
| 固定負債 | 1,629 | 56 | 1,573 | リバーHDへの出資のための長期借入金の増加によるもの |
| 純資産 | 2,540 | 2,614 | ▲73 | 配当支払いによるもの |
| 総資産 | 4,941 | 4,564 | 376 | |

キャッシュ・フロー(CF)計算書：2020年1月期

単位：百万円

| | 2020年1月期 | 前事業年度 | 増減額 | 主な増減要因 |
|----------------|----------|-------|--------|--------------------|
| 税引前当期純利益 | 97 | 883 | ▲786 | |
| 未成工事支出金 (▲は増加) | 97 | ▲77 | 174 | 期末時点での完成工事の増加によるもの |
| 売上債権 (▲は増加) | 1,076 | 799 | 277 | 売上債権の回収によるもの |
| 仕入債務 (▲は減少) | ▲1,009 | 536 | ▲1,546 | 未成工事減少によるもの |
| その他 | ▲415 | ▲388 | ▲27 | |
| 営業活動によるCF | ▲153 | 1,753 | ▲1,907 | |
| 投資活動によるCF | ▲2,543 | 298 | ▲2,841 | 投資有価証券の取得によるもの |
| 財務活動によるCF | 1,604 | ▲777 | 2,381 | 長期借入金によるもの |
| 現金増減額 | ▲1,092 | 1,274 | ▲2,367 | |
| 期末の現金残高 | 938 | 2,031 | ▲1,092 | |

受注状況：2020年1月期

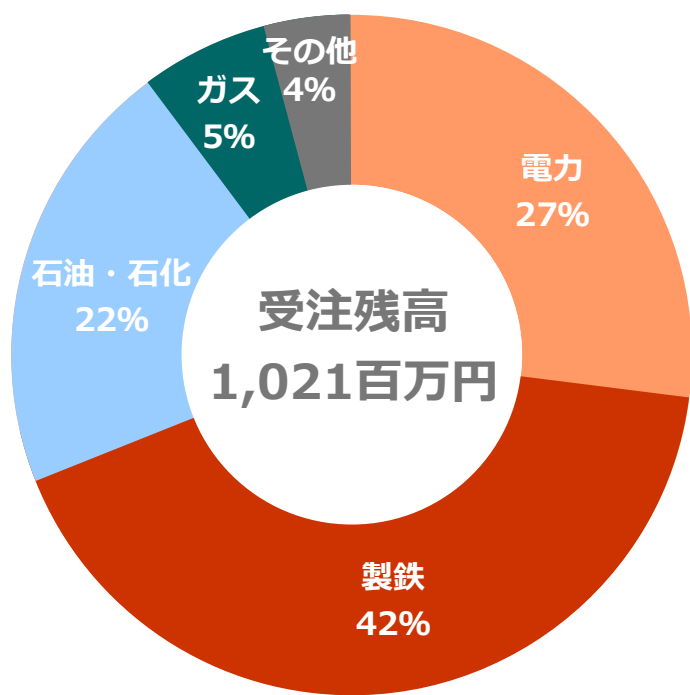
受注残高は昨年度と同水準で推移しております。受注見込の大型案件が控えており、今期の引き合いの状況は良好であります。

単位：百万円

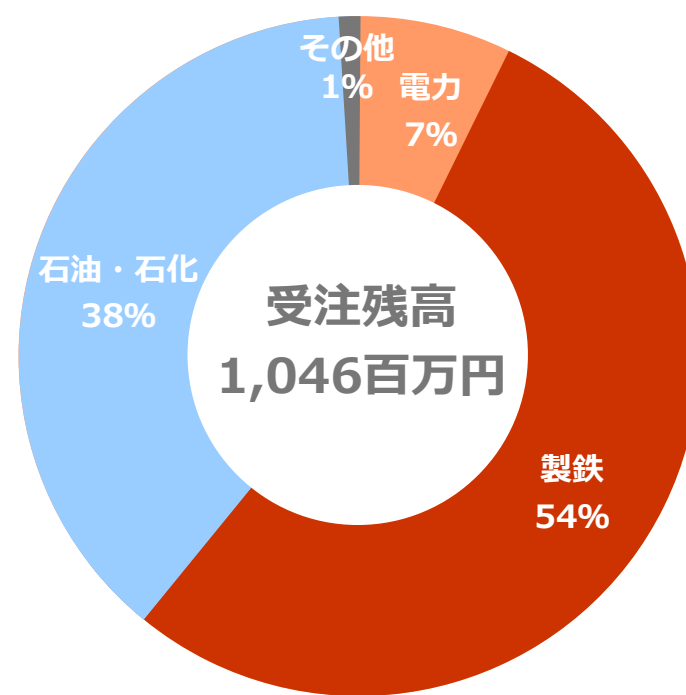
| | 2020年1月期 | 前年同期 | 増減額 | 増減率 |
|-------------------|----------|-------|--------|--------|
| 期首繰越工事高 | 1,021 | 2,218 | ▲1,196 | ▲53.9% |
| 受注工事高 | 3,249 | 3,565 | ▲315 | ▲8.8% |
| 完成工事高 | 3,224 | 4,761 | ▲1,537 | ▲32.3% |
| 期末繰越工事高 (受注残高) | 1,046 | 1,021 | 25 | 2.5% |

業界別 受注残高構成比率

解体需要が旺盛である製鉄業界と、注力して営業を行っている化学業界の受注が多くなっております。



2019年1月期



2020年1月期

業績予想 (2021年1月期)

2021年1月期の業績予想は、プラント解体業界の旺盛な需要を踏まえ、売上高6,400百万円、営業利益570百万円のV字回復を予定しております。

単位: 百万円

| | 業績予想 2021年1月期 | 実績 2020年1月期 | 増加率 |
|---------------------|------------------|----------------|--------|
| 売上高 | 6,400 | 3,436 | 86.3% |
| 営業利益 | 570 | 93 | 511.6% |
| 経常利益 | 566 | 97 | 482.6% |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | 390 | 59 | 551.1% |
| 1株当たり 当期純利益 | 47円 | 7円 | — |
| 1株当たり配当金 | 16円 | 16円 | — |
| 配当性向 | 33.8% | 219.5% | — |

本資料についてのご留意事項

- 本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 本資料に記載されている将来の予測等は現時点で入手された情報に基づくものであり、市況、競合状況等、多くの不確実な要因を受けます。
- 本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控え下さいますようお願いいたします。
- 本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。
- 本資料に関する著作権、商標権その他すべての知的財産権は、当社に帰属します。

ベステラ株式会社



Copyright © BESTERRA CO., LTD All rights reserved.

